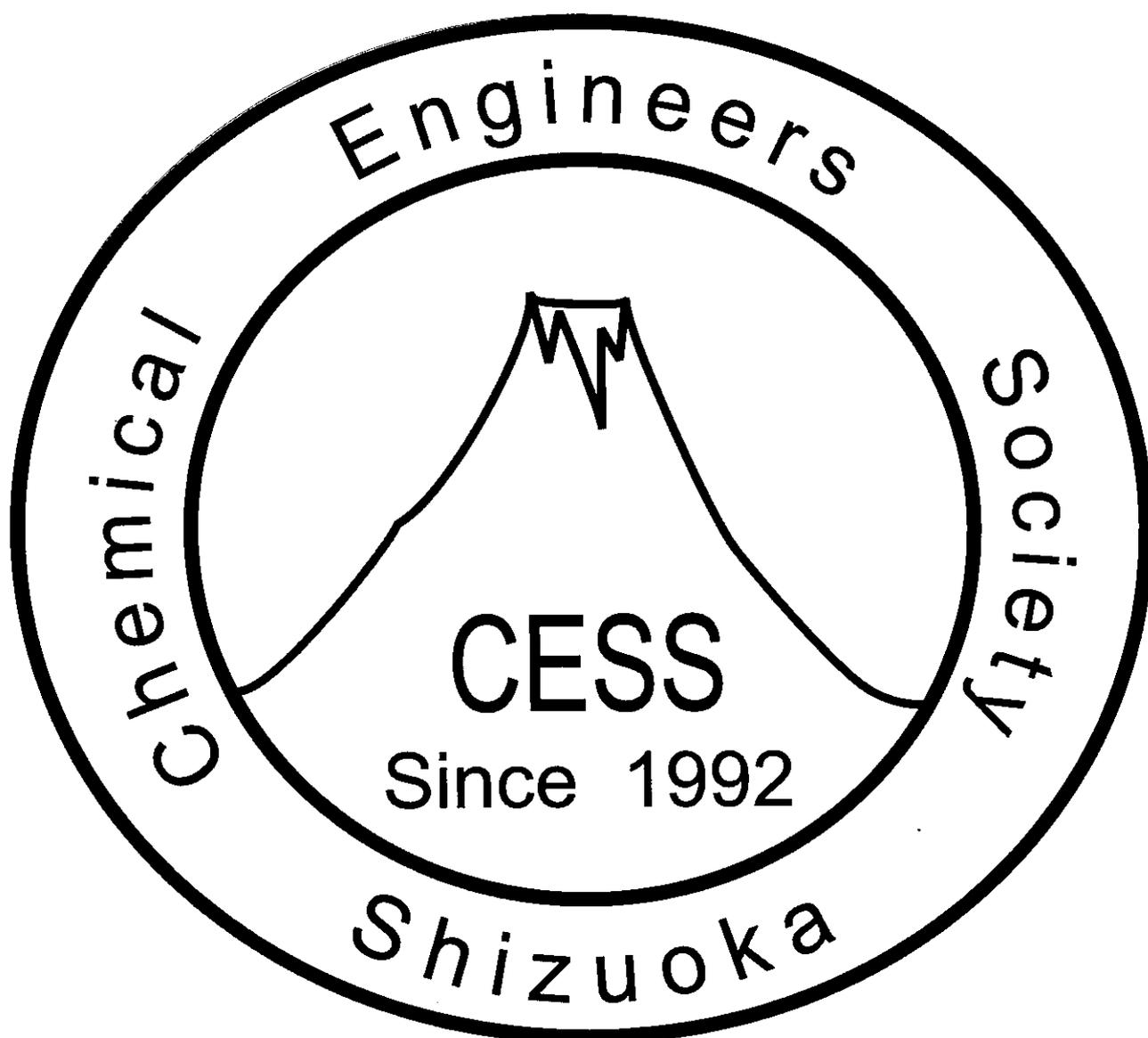


静岡化学工学懇話会

会報

第25号



目 次

ご 挨拶	
静岡化学工学懇話会 会長（平成 28、29 年度） 村松瑞夫	1
平成 28 年度事業報告	2
平成 28 年度総会、見学会 第 51 回静岡コロキウム 「グローバルな環境問題に取り組む」 顛末記	5
なつやすみ！！子供たちのための理科倶楽部 顛末記	7
第 24 回静岡フォーラム・第 49 回研究交流セミナー 「持続可能性社会に向けたバイオマス利用の推進」 顛末記	9
第 23 回企業技術交流会 顛末記	11
サッポロホールディングス株式会社 三谷 優様 大阪大学 岡野泰則教授 化学工学会東海支部 功績賞 受賞	13
静岡化学工学懇話会役員名簿（29 年度）	14
平成 29 年度事業計画	15
会員企業ルポ 22nd	18
静岡化学工学懇話会ホームページのご紹介	20
会員名簿（平成 29 年 5 月 10 日現在）	21
静岡化学工学懇話会 規約	25
（付：入会のご案内、法人会員 入会申込書、個人会員 入会申込書）	
編集後記	

ご挨拶

静岡化学工学懇話会

会長（平成28、29年度） 村松瑞夫



今年度は静岡化学工学懇話会が創立25年を迎えます。この間多くのセミナー、コロキウム、企業技術交流会、工場見学会、又、社会貢献として、大人のための理科倶楽部、子供たちのための理科倶楽部等、地元の企業、企業の社員さん、学生さんには専門知識の習得に力添えができたものと考えます。当事業は多くの先生方、企業の諸先輩方のご努力により続いて参りました。

25年の間には、静岡大学工学部化学工学科には幾たびか変動がありました。最初の頃は化学工学科でしたが、物質工学科に変わり、現在は化学バイオ工学科と電子物質科学科の2つになりました。最初の頃のセミナーでは、化学工学の分野、従来の単位操作を主体としていました。物質工学科になると、地球環境やエネルギーの問題などが入ってきました。そして、化学バイオ工学科では生物、農学の先生方の講義を聴くことができました。この様に化学工学は他の分野と協力し、社会の発展に寄与し大きく変貌してきています。

先日(2月27日)の企業技術交流会では、(以前静岡大学工学部におられました)大阪大学の岡野教授のお話が印象的に残っております。それは、京都大学の山中教授が開発されたIPS細胞の話です。ノーベル賞を受賞するほどの世界的な大発明であり、人類に取って難病を克服できるすばらしい発明ですが、IPS細胞の培養には大変な時間と労力がかかり、聞くところによると費用は数千万円だそうです。これでは広く患者に施術するのは困難です。しかし、化学工学的手法によって培養コストの大幅な削減に繋げることができます。シャーレの中で職人的に行われる培養を、プラントシステムによる培養に改善することにより、コストの大幅な低減になります。そして培養プラントの構築には化学工学は中心的役割を担います。この様に医療の分野にも化学工学は重要な学問です。

近時に於いてなぜか、化学工学は学生達にあまり人気がないそうです、化学工学は医療や農学、生物学などと協力して、新たな発展を続けております。だからこそ化学工学を人気のある学問に変え、多くの学生が集まるようにしなくてはなりません。その活動として、子供たちのための理科倶楽部や大人のための理科倶楽部を開催し、地域に化学工学を広めようとしております。二年目に臨み、諸先輩方、先生方、そして会員の皆様の活発な活動に感謝し、微力を尽くして参りたいと考えております。日本は科学技術の分野でも先進的な国です。化学工学の発展で静岡に、日本に、世界に明るい未来が来ますよう願っております。

平成 28 年度事業報告

主催行事：

(1) 役員会、総会

開催日：平成 28 年 5 月 20 日（金）
会場：日本マイクロバイオファーマ株式会社 磐田工場（磐田市）
内容：事業・会計報告及び承認、事業計画・予算案の審議及び決定
参加人数：34 名

(2) 第 51 回 静岡コロキウム、見学会

開催日：平成 28 年 5 月 20 日（金）
会場：日本マイクロバイオファーマ株式会社 磐田工場（磐田市）
テーマ：微生物の活用に取り組む
内容：講演 2 件、日本マイクロバイオファーマ株式会社 磐田工場 見学
参加人数：58 名
共催：化学工学会東海支部

(3) なつやすみ！！子供たちのための理科倶楽部

開催日：平成 28 年 8 月 12 日（金）
会場：静岡ガス株式会社 エネリアショールーム静岡（静岡市）
内容：体験型講演 2 件
参加者数：28 名
共催：静岡大学食品・生物産業創出拠点
後援：静岡市教育委員会

(4) 第 24 回 静岡フォーラム／第 49 回 研究交流セミナー

開催日：平成 28 年 12 月 20 日（火）
会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター（浜松市）
テーマ：持続可能社会に向けたバイオマス利用の推進
内容：講演 5 件
参加人数：100 名
共同主催：化学工学会東海支部・静岡化学工学懇話会
後援：静岡大学食品・生物産業創出拠点
協賛：静岡大学産学連携協力会、浜松新エネルギー研究会

(5) 第 23 回 企業技術交流会

開催日：平成 29 年 2 月 27 日（月）
会場：静岡大学浜松キャンパス内 佐鳴会館（浜松市）
テーマ：今こそ化学工学が求められている
内容：講演 1 件、ポスター・製品展示・ショートプレゼンテーション
参加企業：12 社
参加者数：80 名
共催：化学工学会東海支部

出版事業

(1) 第 24 号 会報発行（平成 28 年 5 月 20 日）

共催・協賛・後援行事

(1) 第 3 回 初歩からの化学工学数学演習講座

開催日：平成 28 年 5 月 10 日（火）
会場：名城大学名古屋ドーム前キャンパス（名古屋市）
主催：化学工学会東海支部

(2) 第 4 回 初歩からの化学工学概論・演習講座

開催日：平成 28 年 5 月 12 日（木）から 5 月 13 日（金）
会場：名城大学名古屋ドーム前キャンパス（名古屋市）
主催：化学工学会東海支部

(3) 第 40 回 基礎化学工学演習講座

開催日：第 1 コース 平成 28 年 6 月 29 日（水）から 7 月 1 日（金）
第 2 コース 平成 28 年 7 月 6 日（水）から 7 月 8 日（金）
会場：名古屋市工業研究所（名古屋市）
主催：化学工学会東海支部

(4) 第 13 回 分離プロセス基礎講座

開催日：平成 28 年 7 月 15 日（金）
場所：名古屋市工業研究所（名古屋市）
主催：化学工学会東海支部

(5) 第99回 講演見学会

開催日：平成28年8月31日(水)
会場：名古屋大学 減災館 (名古屋市)
主催：化学工学会東海支部

(6) 第36回 東海地区見学講演会

開催日：平成28年10月11日(火)
場所：竹本油脂株式会社 中央研究所 (蒲郡市)
主催：分離技術会

(7) 第50回 化学工学の進歩講習会

開催日：平成28年11月9、10日(水、木)
会場：名古屋市工業研究所 (名古屋市)
主催：化学工学会東海支部

(8) 第43回 研究会

開催日：平成28年11月30日(水)
場所：アクトシティ浜松コンgresセンター
主催：静岡大学食品・生物産業創出拠点

(9) 第49回 研究交流セミナー

開催日：平成28年12月20日(火)
会場：アクトシティ浜松 コンgresセンター (浜松市)
共同主催：化学工学会東海支部・静岡化学工学懇話会

(10) 第12回 東海地区分離技術講演会

開催日：平成29年2月24日(金)
会場：静岡大学イノベーション社会連携推進機構 (浜松市)
主催：分離技術会

平成28年度総会、見学会

第51回静岡コロキウム

「グローバルな環境問題に取り組む」 顛末記

平成28年5月20日(金)に日本マイクロバイオファーマ株式会社磐田工場において、平成28年度総会、見学会、第51回静岡コロキウムが開催されました(共催：化学工学会東海支部)。参加者は34名でした。

総会に先立ち、役員会および見学会を開催しました。役員会にて事業報告、会計報告、役員選出、事業計画、予算、会報等について議論されました。見学会では、日本マイクロバイオファーマ株式会社磐田工場様を見学させて頂きました。総会では、まず村松瑞夫(平成28、29年度)会長(村松風送)の挨拶がありました。その後平成27年度事業報告・会計報告があり、コロキウム、静岡フォーラム、企業技術交流会、子供たちのための理科倶楽部、大人のための探検理科クラブが例年通り開催されたことが報告され、承認されました。事業計画・予算案では、平成28年度も同様に6つの行事を予定していることが紹介され、承認されました。また、第24号会報が紹介されました。

総会後に「微生物の活用に取り組む」と題した第51回静岡コロキウムとなり、まず以下の2件のご講演を頂きました。

「環境微生物活用のための工学的アプローチ」

「日本マイクロバイオファーマ(株)における生物生産の取り組み」

その後、磐田駅近くに場所を移して懇親会がなされました。会員相互に交流を深めることができ、盛況な会となりました。

最後に、本会の開催でお世話になりました日本マイクロバイオファーマ株式会社磐田工場の皆様、講師の先生方、今回の企画を担当されました懇話会幹事をはじめとしました関係幹事の皆様に深く感謝申し上げます。

(文責 静岡大学 武田和宏)

なつやすみ！！

子供たちのための理科倶楽部

顛末記

平成 28 年 8 月 12 日（金）13：30～16：00 に静岡市内の静岡ガス株式会社 エネリア ショールーム静岡（静岡市駿河区八幡 1-5-38）において、「なつやすみ！！子供たちのための理科倶楽部」が開催されました。当日申し込みを含めて、28 名の小学生が参加しました。

内容は以下の 2 部構成でした。

おはなし 1：科学現象の不思議？を、体験しよう！ サイエンスショー
静岡大学大学院工学領域 木村元彦 氏

おはなし 2：「カイコの糸」をつむいでみよう！
静岡大学グリーン科学技術研究所 加藤竜也 氏

木村先生のサイエンスショーでは四つの不思議について参加した子供たちに手伝ってもらいながら、実演紹介されました。「電気のお不思議」では、プラズマや高圧放電、そしてこれを利用した音楽演奏、色とりどりの蛍光管の発光、「磁石のお不思議」では、磁石でアルミの円盤を回転・停止、「液体のお不思議」では、交互に色が変化する液体やインクが混じったように見えても元に戻る液体、「空気のお不思議」では、ペットボトル内での雲の生成、金属管を熱して音をだすなど、子供たちはもちろん付き添いの保護者の方々も楽しめるものでした。実演紹介だけではなく、なぜそのような現象が起こるのかについても、わかりやすく説明されました。

加藤先生の「カイコの糸」をつむいでみよう！では、茹でておいたカイコの繭から、子供たちが自分で糸を取り出し、ペットボトルを利用した糸巻き機で巻き取っていきました。繭から一本の糸を取り出すには難しい場合には、保護者や加藤研究室の学生に手伝ってもらいました。糸を巻き取っていくと、繭の中にあるさなぎがみえたりもしました。また、実際のカイコの幼虫も持って来て頂いており、子供たちはもちろん保護者の方々も触ったり、手に乗せたりして、観察するなどしていました。

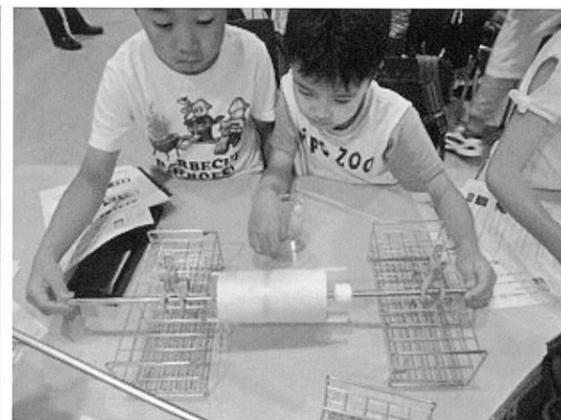
参加した子供たちが積極的に実演や実験に楽しそうに参加する様子は、大変うれしいものでした。これを機会にますます科学に興味をもっていただけたら、これ以上うれしいことはありません。

お話を頂いた木村先生、加藤先生に大変感謝を申し上げます。また、お手伝い頂いた木村研究室、加藤研究室の学生たちに感謝いたします。

最後になりましたが、エネリアショールーム静岡を会場として使用することにご了解頂いた静岡ガス株式会社、開催にあたりご協力、ご支援を頂いた二村文久様、エネリアショールーム静岡の皆様には深くお礼申し上げます。

（文責 静岡大学 前澤昭礼）





第24回静岡フォーラム・第49回研究交流セミナー

「持続可能性社会に向けたバイオマス利用の推進」

顛末記

2016年12月20日(火) 13:00~16:55、アクトシティ浜松コンgressセンターに於いて、第24回静岡フォーラム・第49回研究交流セミナーが開催されました。本フォーラムは、化学工学会東海支部との共催であり、静岡大学産学連携協力会ならびに浜松新エネルギー研究会の協賛、また、静岡大学食品・生物産業創出拠点の後援の下、開催されました。

講演会テーマは「持続可能性社会に向けたバイオマス利用の推進」に設定致しました。静岡化学工学懇話会の会員、一般の皆様をはじめ、静岡大学工学部から多数の学生が参加し、参加者100名程の盛大なフォーラムとなりました。

村松会長の開会の挨拶のあと、4件の講演が行われました。

1件目は広島大学バイオマスプロジェクト研究センターの松村幸彦様より、「バイオマス利用技術の現状」と題して講演が行われました。バイオマスの定義、規模とエネルギー回収効率、日本および世界の動きについて紹介されました。

2件目は森林総合研究所の中村雅哉様より「森林バイオマスの利用—リグニンの微生物分解物の利用を中心に」と題して講演が行われました。微生物の代謝機能を利用することによって、木材バイオマスから得られた機能性物質について紹介されました。

休憩後、3件目は静岡大学グリーン科学技術研究所の木村浩之様より「地下圏微生物によるエネルギー生産」と題して講演が行われました。太平洋側に広く分布する付加体由来の温泉には高純度のメタンガスが含まれており、地産地消タイプの新しいエネルギー源として研究・活用について紹介されました。

最後、4件目は静岡県工業技術研究所の太田良和弘様より「静岡県のエネルギー戦略とバイオマス利用研究開発事例」と題して講演が行われました。各自治体におけるエネルギー戦略の紹介の後、静岡県のバイオマス事業化戦略について紹介がなされました。地産地消タイプ(エネルギー自立)のエネルギー戦略を目指し、小型メタン発酵プラント等について紹介されました。

講演会閉会の挨拶は、本フォーラム企画者の金原和秀先生よりなされました。

講演会后、オークラアクトシティホテル浜松30階パールにて、講演者を御招きして懇親会が開催されました。村松会長の御挨拶、引き続いての須藤雅夫先生による乾杯の御発声の後、歓談に移りました。参加者らは講演者を交えて、活発に情報・意見交換・交流し懇親を深めました。中締めとして金原和秀先生より挨拶があり、盛会の内に終了しました。

(文責 静岡大学 二又 裕之)

第23回企業技術交流会

顛末記

平成29年2月27日(月)14:30～17:0に静岡大学浜松キャンパス(浜松市中区城北3-5-1)佐鳴会館において、「第23回企業技術交流会」が開催されました。今回の交流会では、静岡大学の学部生、修士学生との交流も目的としました。

参加者数は35名程度の学生参加を含めて、約80名でした。参加企業は以下の12社でした。

(株)中央発明研究所、日本軽金属(株)、東邦化工建設(株)、東海理機(株)
三井・デュポンフロロケミカル(株)、東海電子(株)富士営業所
クリオテックファーマ(株)、ケイ・アイ化成(株)、大川原化工機(株)
矢崎エナジーシステム(株)、日立プラントサービス(株)、新興プランテック(株)

佐鳴会館会議室で村松会長の開会挨拶のあと、各社のショートプレゼンテーションを行いました。会社の概要、業務内容、技術や展示物に関する簡単な説明など、各社の特色などをプレゼンして頂きました。

各社のショートプレゼンテーションの後は、大阪大学大学院基礎工学研究科 化学工学領域 岡野泰則教授に「いまこそ化学工学が求められている」という題目でご講演をして頂きました。様々な分野では化学工学ができる人たちが求められているのにも拘らず、高校まで化学工学という分野が殆ど知られていないこと、バイオ関連分野、材料関連分野、宇宙関連分野などでの工業化に関して、化学工学の分野の一つである移動現象論が大変役に立っていることをお話されました。

講演会の後、会議室からホールに移って、参加各社のポスター・製品展示会が開かれました。会員同士の交流はもちろんのこと、各社のブースでは参加学生との交流も盛んであり、業務内容や製品に関する様々な質問がされていました。

展示会終了後、静岡大学生協の北館食堂に場所を移し、講演者を招いた懇親会が行われました。金原副会長による乾杯のご発声のあと、参加者たちは活発に情報・意見交換・交流を行い、親睦を深めました。最後に、須藤雅夫名誉会長よりお言葉を頂き、一本締めで終了いたしました。

ご講演を頂きました岡野泰則教授に深く感謝を申し上げます。また、プレゼンテーションや展示説明をして頂きました各社参加者の方々にお礼を申し上げます。

(静岡大学 前澤昭礼 記)





サッポロホールディングス株式会社 三谷 優様

大阪大学 岡野泰則教授

化学工学会東海支部 功績賞 受賞

平成29年2月14日(火)メルパルク名古屋において、サッポロホールディングス株式会社 三谷 優様、大阪大学 岡野泰則教授の化学工学会東海支部への多大な貢献が認められ化学工学会東海支部功績賞を受賞されました。

三谷 優様は、化学工学会東海支部幹事を平成25年から27年まで務められました。また、化学工学会東海支部静岡化学工学懇話会の設立から携わり、副会長を平成20年から2期、会長を平成24年から1期務められました。この間、懇話会の活動に多大に貢献されました。

岡野泰則教授は、化学工学会東海支部幹事を平成11年から16年まで、常任幹事を平成21年から22年まで務められました。平成17年から18年は庶務幹事、平成19年から20年は会計幹事を務め、支部運営の中心となり、その間の秋季大会・年会では実行組織の一員として貢献されました。平成18年から23年までは支部選出代議員も歴任されました。

お二人のこれまでの功績が認められ、化学工学会東海支部功績賞を受賞されました。



(平成29年2月14日(火)メルパルク名古屋にて
左から岡野泰則教授、野村東海支部支部長、多田教授)

静岡化学工学懇話会役員名簿 (29 年度)

(平成 29 年 4 月 20 日現在)

<会 長>

村松 瑞夫 村松風送設備工業株式会社

<副会長>

松本 豊 公益財団法人静岡産業振興協会 静岡市産学交流センター
金原 和秀 静岡大学大学院工学領域

<幹 事>

前澤 昭礼 (庶務担当) 静岡大学大学院工学領域
孔 昌一 (会計担当) 静岡大学大学院工学領域
河合 文雄 (会誌担当) 有限会社ホープ・マネジメント
武田 和宏 (HP 担当) 静岡大学大学院工学領域
石黒 義昭 矢崎エナジーシステム株式会社 ガス機器事業部
磯部 洋祐 株式会社 J-オイルミルズ 生産戦略部
岩尾 康範 静岡県立大学 薬学部
上木 敏 静岡ガス株式会社 エネルギー戦略部
大島 一真 沼津工業高等専門学校 物質工学科
加田 雅博 ポリプラスチック株式会社 研究開発本部
菅 公一 株式会社中央発明研究所 浜松 TSC
坂田 昌弘 静岡県立大学 食品栄養科学部
新谷 政己 静岡大学大学院工学領域
鈴木 秀圭 日本軽金属株式会社 蒲原ケミカル工場
鈴木 悠介 静岡県工業技術研究所 富士工業技術支援センター
竹口 昌之 沼津工業高等専門学校 物質工学科
立元 雄治 静岡大学大学院工学領域
田中 孝彦 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
豊田 和弘 矢崎総業株式会社 技術研究所
朴 龍洙 静岡大学 グリーン科学技術研究所
東 健策 株式会社巴川製紙所 研究開発部 技術研究所
福原 長寿 静岡大学大学院工学領域
八木 淳一 静岡県工業技術研究所 沼津工業技術支援センター
谷野 英雄 中部ガス株式会社 浜松供給センター
脇屋 和紀 株式会社大川原製作所

<監 事>

三谷 優 有限会社クレオ・サイエンス
木村 元彦 静岡大学大学院工学領域

平成 29 年度事業計画

主催行事:

(1) 役員会、総会

開催日:平成 29 年 5 月 25 日 (木)
会場:株式会社リコー・リコー環境事業開発センター (御殿場市)
内容:事業・会計報告及び承認、事業計画・予算案の審議及び決定

(2) 第 52 回 静岡コロキウム、見学会

開催日:平成 29 年 5 月 25 日 (木)
会場:株式会社リコー・リコー環境事業開発センター (御殿場市)
内容:講演 2 件、見学
共催:化学工学会東海支部

(3) 子供たちのための理科倶楽部

開催日:平成 29 年 8 月予定
会場:未定
内容:体験型講演

(4) 第 25 回 静岡フォーラム/第 50 回 研究交流セミナー

開催日:平成 29 年 10 月予定
会場:アクトシティ浜松 コンgressセンター
テーマ:未定
内容:講演
共同主催:化学工学会東海支部・静岡化学工学懇話会

(5) 第 24 回 企業技術交流会

開催日:平成 29 年 11 月予定
会場:未定
テーマ:未定
内容:講演、ポスター・製品展示

(6) 探検理科倶楽部

開催日：平成29年12月予定
会場：未定
テーマ：未定
内容：講演、見学

(7) 役員会

開催日：平成30年1月予定
会場：未定
内容：次年度役員候補選出等

(8) 第53回 静岡コロキウム

開催日：平成30年1月予定 22/1
会場：未定
テーマ：未定
内容：講演、見学

出版事業

(1) 第25号 会報発行 (平成29年5月25日)

共催・協賛・後援行事

(1) 第41回 基礎化学工学演習講座

開催日：第1クール 平成29年6月21日(水)から6月23日(金)
第2クール 平成29年6月28日(水)から6月30日(金)
第3クール 平成29年7月26日(水)から7月28日(金)
第4クール 平成29年8月8日(火)から8月10日(木)
会場：名古屋市工業研究所、名古屋駅前イノベーションハブ (名古屋市)
主催：化学工学会東海支部

(2) 第5回 初歩からの化学工学概論・演習講座

開催日：平成29年9月25日(月)から9月29日(金)
会場：名古屋駅前イノベーションハブ (名古屋市)
主催：化学工学会東海支部

(3) 第4回 初歩からの化学工学数学演習講座

開催日：平成29年11月17日(金)
会場：名古屋駅前イノベーションハブ (名古屋市)
主催：化学工学会東海支部

(4) 第101回 講演見学会

開催日：平成29年8月2日(水)
会場：株式会社デンソー 阿久比製作所 (知多郡)
主催：化学工学会東海支部

(5) 第102回 講演見学会

開催日：平成30年1月予定
会場：未定
主催：化学工学会東海支部

(6) 第51回 化学工学の進歩講習会

開催日：平成29年11月予定
会場：未定
主催：化学工学会東海支部

(7) 第46回 研究会

開催日：平成29年12月1日(金) 予定
場所：アクトシティ浜松 コンgressセンターを予定
主催：静岡大学食品・生物産業創出拠点

(8) 第50回 研究交流セミナー

開催日：平成29年10月予定
会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター
テーマ：未定
内容：講演
共同主催：化学工学会東海支部・静岡化学工学懇話会

ケイ・アイ化成株式会社

(面会者) 精密化学品部 研究室 室長 松野秀則 氏

会員企業を訪問し、事業活動の様子を取材させて頂き、ご紹介するコーナーです。今回は、静岡県磐田市塩新田の福田工業団地内にありますケイ・アイ化成株式会社を訪ね、精密化学品部 研究室 室長の松野秀則氏に事業概要や化学工学との関わりなどをお聴きしました。

1. 事業概要は

当社は、1975年2月にクミアイ化学工業株式会社等により理研ケミカル工業株式会社として設立され、1983年2月にケイ・アイ化成株式会社と社名変更しました。1983年3月にイハラケミカル工業株式会社により設立されたフクデイハラケミカル株式会社と合併し、現在に至っています。

化成成品・産業薬品・バイオ製品 の3事業を時代のニーズに合わせ、常に満足して頂ける製品、サービスの提供に全社を挙げて取り組んでいます。

化成成品事業

高分子原料、有機ホスフィン類、水素化ナトリウム、ビタミンC誘導体、オキシインドール類、クロトルエン誘導体、各種有機中間製品等の製造販売及び研究開発

産業薬品

スライムコントロール剤、防腐防カビ剤、水処理剤、漁網防汚剤、船底塗料、バイオサイド原体類、環境衛生殺菌剤、工程洗浄殺菌剤等の製造販売及び研究開発

バイオ製品

ファフィア酵母、乳糖分解酵素、飼料用生菌剤等の製造販売及び研究開発



松野秀則 氏



実験室風景



2015年2月竣工の新プラント

また、品質保証・環境対策はもとより安全衛生、防災対策等も積極的に推進しています。
・「ISO14001」を取得し、地域共生を実現するために、工場排水の徹底した管理、大気汚染物

質・産業廃棄物の削減・処理、エネルギー・原材料の効率利用など実施すると共に、常に技術改善を行い環境保全に取り組んでいます。

- ・「ISO9001」に化成成品・産業薬品・バイオ製品の開発、製造、販売で登録しています。常に顧客の視点に立ち、満足される「製品」を提供しています。
- ・安全・防災面では、万が一の事故・自然災害にも対応できる安全性の高い設備の導入、工程の改善全社員を対象とした定期的な教育訓練の実施、さらにはリスクアセスメントを取り入れた防災体制の構築にも積極的に取り組んでいます。

2. 化学工学との関わりは如何ですか。

当社の製造工程では、反応、晶析、混合、溶解、濾過、乾燥さらには培養などの技術を用いています。しかしながら、化学工学を専門に学んだ技術者は殆どいない状況です。そこで、毎年化学工学会東海支部の主催で開催される基礎化学工学演習講座に参加させて戴いております。製造工程に先進のプロセス技術を導入していく際には、化学工学の知識は欠かせません。

3. 今後の方向は如何ですか。

これからも、高品質・高技術・顧客満足・快適環境・安全というキーワードに基づいたファインケミカル製品・スペシャリティケミカル製品・バイオテクノロジー製品等を提供し、成長を図ると共に豊かな社会生活の発展に貢献して参ります。当社独自の新技術の追求は、もちろん、人・社会・環境等をトータル的に見つめた製品によって、自然と調和した未来の社会づくりが目標です。



2011年9月に竣工した
本社事務所棟

今回は、会員企業のケイ・アイ化成工業株式会社を訪問しました。同社では新技術による製品開発は勿論、社会生活の発展への貢献を目指し、更に自然と調和した未来社会の実現を目標に掲げておられます。

製造工程は化学プロセスで構築され、そこから多くの製品が生み出されます。ユーザーである化学メーカーへ納入する中間材料のため一般消費者が直接目にすることはありませんが、化学製品づくりをしっかりと支えています。

新たな自社製品開発にも積極的に取り組まれるとのことですので、産業への更なる貢献が期待されます。

今後の同社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

リポーター 幹事 河合文雄

<編集後記>

イギリスが EU から離脱し、アメリカはメキシコとの国境に壁を作るなど世界情勢はグローバルと内向きが並行しているようです。本懇話会は多くの活動を通じて、会員同士の絆を深めつつ、異分野を含めたより広い分野との交流も積極的に広げていきたいですね。

(静岡大学 武田和宏 記)

静岡化学工学懇話会会報

<第25号>

発行／平成29年5月25日

静岡化学工学懇話会

会長 村松 瑞夫

〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1

静岡大学工学部化学バイオ工学科内

TEL (053) 478-1188

FAX (053) 476-0095

製作／静岡化学工学懇話会

(有)ホープ・マネジメント

TEL (053) 430-4239

FAX (053) 430-4238